

平成27年度 警察本部 運営目標

番号	運営目標	ページ
1	地域力向上や先制的な検挙・抑止活動により犯罪の起きにくいまちづくりを推進し、体感治安を向上します。	1
2	サイバー空間における脅威への的確に対処します。	3
3	交通死亡事故抑止対策を推進します。	4
4	総合的な危機管理対策を推進します。	5
5	少年非行防止総合対策を充実・深化させます。	5
6	犯罪被害者等に対する支援を充実します。	6
7	警察署等の再編整備・交番等の機能強化を推進します。	6

運営目標数	7
うち数値目標	4

平成27年度 警察本部 運営目標

運営目標

1 地域力向上や先制的な検挙・抑止活動により犯罪の起きにくいまちづくりを推進し、体感治安を向上します。

中期計画	府民安心の再構築	暮らしの安心	犯罪の発生が抑止されること
中期計画	府民安心の再構築	暮らしの安心	女性や地域の力をいかし、防犯力が向上すること
①	刑法犯認知件数を11年連続で減少します。 ＜刑法犯認知件数(年間)：28,000件以下(㊼実績 28,671件)＞		
②	先制的な抑止活動を推進するため、犯罪防御システム(仮称)の構築に向けた取組を行います。		
③	迎撃捜査システムの活用等、科学捜査力を用いた捜査支援の仕組みの充実により、府民が身近で不安に感じる凶悪犯罪や性犯罪、連続発生する犯罪等を徹底検挙します。		
⑦	「京(みやこ)すぐメール」やSNS、地図情報の発信等多様なツールを活用して、府民に対し、そのニーズに応じたきめ細やかな情報を提供することで、地域住民等による自主防犯活動の活性化を図るなど、地域防犯力の向上に向けた取組を推進します。 ＜防犯・犯罪情報メールの有効登録件数：37,000件以上(㊽新規)＞		

運営目標

達成手段 (数値目標)	⑧	産業界との一層の連携強化を図るとともに事業者による防犯CSR活動を促進します。
	⑨	ストーカー・DV等重大事件に発展するおそれのある事案への迅速・的確な対応を徹底するとともに、子供や女性の安全確保に向けた先制・予防的活動を推進します。
	⑩	関係機関・団体との情報共有及び連携を強化し、認知症高齢者等の行方不明者の早期発見と適切な保護に努めます。
	⑪	「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」を効果的に運用し、海域等における遊泳者の保護及びプレジャーボートに対する指導・取締りなどを行い、「安心・安全な海の京都」を構築します。
	⑫	高齢者を対象とした悪質商法事犯の取締り強化、関連機関と連携した被害の未然防止・拡大防止対策を推進します。
	⑬	犯罪を助長、容易にする犯罪インフラの実態解明と取締りを強化し、関係行政機関や事業者等と連携した犯罪インフラを生まない環境づくりを推進します。
	⑭	京都府暴力団排除条例を始めとするあらゆる関係法令を駆使して暴力団犯罪等を徹底検挙し、犯罪組織の実態解明と資金剥奪による弱体化を図るなど、暴力団排除活動を強化します。
	⑮	京都府薬物の乱用の防止に関する条例に基づく広報啓発活動等により、薬物の有害性・危険性についての正しい知識の周知と社会全体における薬物乱用を拒絶する気運の醸成を図るなど、薬物対策を推進します。
	⑯	安全・安心な中心繁華街の定着に向けて、祇園・木屋町特別警察隊の効果的な運用等により、悪質な風俗事犯等に対する取締りを徹底するとともに、行政・商店街等と連携した対策を推進します。

運営目標

2 サイバー空間における脅威への確に対処します。

中期計画

府民安心の再構築

暮らしの安心

サイバー空間の安全と秩序が保たれること

達成手段
(数値目標)

- | | |
|---|---|
| ① | 府内事業者に対するITに関連する事故・事件の予防対策と発生時の対応の支援、情報セキュリティ意識の醸成等を目的としたオール京都組織を設立します。 |
| ② | 違法・有害情報の排除に向けた取締りを強化します。 |
| ③ | 大学や民間事業者等と連携して捜査員の育成や調査・研究を行い、警察全体のサイバー犯罪等への対処能力を向上します。 |
| ④ | ネット安心アドバイザーの運用を始めとした産学官連携によるサイバー犯罪の被害防止対策を推進します。
<警察職員やネット安心アドバイザー等によるサイバー犯罪被害防止講演の実施回数(年間): 1,625回以上(㉔実績 1,573回)>
<サイバー犯罪被害防止に係る広報啓発活動の実施回数(年間): 500回以上(㉔実績 466回)> |
| ⑤ | 府内重要インフラ事業者等への個別訪問により、サイバー攻撃被害の予防活動を推進します。
<個別訪問によるサイバー攻撃被害予防活動の実施事業所数 年間220事業所(㉔実績 197事業所)> |

運営目標

3 交通死亡事故抑止対策を推進します。

中期計画	府民安心の再構築 暮らしの安心	交通事故が減少すること
達成手段 (数値目標)	①	交通事故分析の高度化により交通事故の発生を予測して、交通の規制、取締り、安全教育を組み合わせた戦略的な対策を推進し、交通事故発生件数、死者数、負傷者数の減少を目指します。 ＜交通事故発生件数：10,000件以下(㉔実績 10,185件)、死者数：61人以下(㉔実績 69人)、死傷者数：12,000人以下(㉔実績 12,456人)＞
	②	歩行者等の安全な通行を確保するため生活道路や子供の通学路における「ゾーン30」の指定拡大を推進し、危険な運転から府民を守ります。 ＜ゾーン30の設定：41箇所(累計)(㉔新規)＞
	③	府民から提供される悪質・危険運転者に関する情報を分析して飲酒運転等の取締りを強化するなど、悪質・危険運転者対策を推進します。 ＜飲酒運転による交通事故件数：40件以下(㉔新規)＞
	④	産学官連携による反射材等の開発や高齢運転者に対する質の高い安全教育等を推進します。 ＜高齢者の交通事故死者数：30人以下(㉔実績 38人)、全事故に占める高齢運転者の割合：17%(㉔新規)＞
	⑤	自転車利用者に対するルール周知と指導取締りの強化、道路管理者と連携した自転車の安全快適な通行環境の整備等、自転車の安全利用を促進します。 ＜自転車事故発生件数：前年(2,182件)以下(㉔実績 2,182件)＞

運営目標

4 総合的な危機管理対策を推進します。

中期計画	府民安心の再構築	暮らしの安心	地震、津波、風水害等による被害が軽減されること
達成手段 (数値目標)	①	京都府や気象庁等の防災関係機関との連携強化、装備資機材の充実強化等により、円滑な避難誘導、広範かつ多様な救出救助活動に対応するための災害警備体制を構築し、迅速・的確な災害警備活動を行います。	
	②	救急救命士等を指導者とする災害現場を想定した訓練を行い、部隊の対処能力の向上を図ります。	
	③	京都府等関係機関との国民保護を想定した合同訓練を実施して警察部隊の対処能力を強化し、府民の避難、救出等の措置を徹底します。	
	④	防災拠点となる警察施設の耐震強化対策を計画的に推進します。	

5 少年非行防止総合対策を充実・深化させます。

中期計画	府民安心の再構築	子育て・子育ての安心	少年非行の状況が改善されること
達成手段 (数値目標)	①	少年の規範意識向上を図るとともに、インターネットの利用等による犯罪被害やトラブルを防止するため、学校や教育機関との連携の下、府内全ての小・中学校において非行防止教室を実施します。 ＜全小・中学校における非行防止教室の実施(年度): 591校(㉔実績 595校)＞	
	②	非行少年グループの早期検挙・解体を図るとともに、「立ち直り支援チーム」等の関係機関やボランティア団体等と連携した立ち直り支援活動を推進し、再犯少年の減少を目指します。 ＜刑法犯少年のうち、再犯に及んだ少年数(年間): 513人以下(㉔実績 545人)＞	
	③	非行事象に応じたスクールサポーターの効果的な運用を図るとともに、「非行防止対策チーム」によるパトロールや声掛け活動を推進します。	

運営目標

6 犯罪被害者等に対する支援を充実します。

中期計画		府民安心の再構築	暮らしの安心	被害者や被災者の心身両方のショックが癒されること
達成手段 (数値目標)	①	犯罪被害者等の心情に配慮した専用相談室等を整備するほか、指定被害者支援要員を迅速に運用し、犯罪被害者等への支援を的確に行うとともに、公費負担制度を適正に運用して、精神的、経済的負担の軽減に努めます。		
	②	性被害者に対して、被害直後から心のケアや診察・証拠保全、法的支援等の総合的な支援を提供する「性被害者ワンストップ相談支援センター（仮称）」の設立に向け関係機関等と連携するほか、同センターと連携して性被害者の心身の負担軽減とその早期回復を図ります。		
	③	中長期的な支援が必要な犯罪被害者等に対して適切な情報提供を行い、公判傍聴や出廷への付添、カウンセリング等の支援を行っている公益社団法人京都犯罪被害者支援センターを始めとした関係機関・団体と連携し、途切れない支援に取り組みます。		
	④	京都府犯罪被害者サポートチームと連携して、あらゆる機会を通じた犯罪被害者遺族の講演会や中高生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」を積極的に開催し、被害者も加害者も出さないまちづくりに向けた広報啓発活動を推進します。		

7 警察署等の再編整備・交番等の機能強化を推進します。

中期計画		府民安心の再構築	暮らしの安心	女性や地域の力をいかし、防犯力が向上すること
達成手段 (数値目標)	①	地域の実態を的確に把握するとともに、交番勤務員や交番相談員の効果的な配置・運用により、立番やパトロールの強化、事件事故発生時の迅速な現場対応、地域安全情報のタイムリーな発信など、住民要望に基づいた地域警察活動に取り組みます。		
	②	「警察署の再編整備実施計画」及び「交番・駐在所等の機能充実・強化プラン」に基づき、警察署や交番・駐在所等の再編整備（新設・移転・統合等）を推進するとともに、交番・駐在所施設に地域防犯活動の拠点となるコミュニティルームを始めとする施設を整備します。		